

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和3年4月20日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名)

友和クラブ
土居 幸則



令和2年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和2年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和2年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入

政務活動費 960,000 円

【内訳 40,000円×12月×2人】

2 支出 216,700 円

3 残額 743,300 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	95,700	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	29,000	
		交通費	22,100	
		宿泊費	29,600	
		その他の経費	15,000	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	121,000	広報紙等印刷製本費	121,000	
		送料	0	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 友和クラブ)

(研究研修費、No. 1)

(領収証等貼付箇所)

RECEIPT
領 収 証

土居 幸則様

¥48,500-

THE MENTIONED SUM OF MONEY IS DULY RECEIVED
上記の金額正に領収致しました。

領収日. 2020年09月26日

金種 : 現金・クレジットカード・その他でのお支払いを含みます。

但し、旅行代金として

照会番号 : AN819343

ANAセールス株式会社
国内予約販売部



TEL. 092-720-8560



【社印、担当者印なきもの及び金額訂正したものは無効です】

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 友和クラブ)

(研究研修費、No. 2)

(領収証等財付簿証)

No. 82

領 収 書

2020年10月21日

福岡県

土居 幸則 様

¥29,000. -

第25回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました



清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4丁目

日本青年館

TEL 03-6452-9012

政務活動費 調査旅費等報告書

(会派(議員)名 友和クラブ 土居 幸則)

日程	令和2年10月21日から令和2年10月22日まで 2日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
10月21日 13時00分 ～	東京都 日本青年館	清溪セミナー受講 講義Ⅰ 「少子化対策～自治体からの検証・提言」 講師 泉房穂氏(明石市長) 小林美希氏(ジャーナリスト) 講義Ⅱ 「少子化、地方創生、地域社会の連携」 講師:杉岡秀紀氏(福知山公立大学准教授) 講義Ⅲ 「住民自治組織が担う地域の未来～福知山市三和地域協議会の挑戦～」 講師:岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)	行政の仕事においては、前例主義など固定観念や既成事実にとらわれない行政運営で、課題に対する手段の執行プロセスは、本市でも取り組む価値があるのではと感じた。具体的には、子供関連予算の増額など、大胆な改革を実施することで、結果として出生率が上がり、人口が増え、まちが賑わい、税収が上がり、新たな施策を実現できるという、好循環のスパイラルが起こる。ということで、まずは、失敗を恐れず、新しいことに挑戦することが大切だと思った。 人口減少に対する解決策として、定住人口と関係人口の在り方を学び、後者の実態を把握・分析し、そこにアプローチする企画・事業を打つことで、地域と潜在人口とを結び、関係性を深める事が人口増への第一歩だと思った。 地域協議会の挑戦ということで、少子高齢・過疎化の現状に対し、同協議会の発足意義・機能など十分に協議・検討され、本市にとっても、共感・共鳴する問題・課題であり、多くのヒントとなった。 中でも、移住者の取り込みについては、新規就農において、単に田舎で農業をやる！にとどまらず、食べていける農業(ブランド野菜の開発)など、移住から定住までのプランニングが出来ており、安心感と将来への期待感を掻き立てられる思いがした。

10月22日
9時00分
～

議義Ⅲ
パネルディスカッション「withコロナの時代を見据えて～地方からの行政改革、議会改革～」

コーディネーター・コメントーター：福岡政行先生（常任講師・白鳳大学名誉教授）

パネリスト
中川智子氏（宝塚市長）
ビアンキ・アンソニー氏（前犬山市議会議長）

議会改革を推し進めるうえでは、「議員間討議」がより重要という提言については、確かにそうだな！と感じた。議案に対する質疑や一般質問、委員会質疑など、議員としての役割は果たしているように見えるが、議会としての役割・権限を十分に発揮するためには、議員同士による多面的で深い議論が不可欠だと思う。そうする事で自身の考えを検証し、また他者の意見や考えを知る事で、テーマに対する結論の質を高めることができると思う。次に、市民参加型のフリースピーチ制度については、行政や議会、議員というものの本質を知るためにも、できる限り実施すべきだと感じた。そうする事で、お互いの思いや考えを確認・理解し、双方が身近に感じられる関係構築に繋がると思う。

講義Ⅳ
「新型コロナ感染拡大と今後の地域経済～支えあいから再興へ～」
講師：吉原毅氏（城南信用金庫顧問）

信用金庫という民間企業からのコロナに対する地域経済とは、どういうものか？という前に、「信用金庫＝飯信？」程度の認識でしたが、改めてその地域に果たす役割・仕事について知ると、まさに地域事業の発展のため黒子のようにサポートしてくれる金融機関だと知り、その有難さを痛感した。

講義Ⅴ
「民主主義とメディア～新型コロナ禍の中で～」
講師：望月衣塑子氏（東京新聞記者）

新聞記者ならではの、広く深い見識で、今回の総裁選や学術会議任命拒否問題、官邸の闇の部分など、解明しにくい問題等を分かりやすく解説され、今の民主主義の在り方、国民の立ち位置など、政治に対する見方・態度をしっかりと持つ事が、この国を良くするためには必要だと思った。ついつい、身の回りや自分の事ばかりに囚われがちな現代、政治や社会を良くも悪くもするのは、本当は我々国民自身だという事をしっかりと肝に銘じておく必要があると思った。

			<p>最後にまとめとして、この研修をした内容を飯塚市で取り入れて実践できるよう模索していきたいと思った。</p>
--	--	--	--

住民主体の地方自治を進めるために

第25回 SEIKI SEMINAR

清溪セミナー

2020年10月21日[水]～10月22日[木]

日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

1日目 10月21日[水]

13:00～15:00 講義 I

少子化対策～自治体からの検証・提言

講師：泉房穂氏(明石市長)



東京大学教育学部卒業後、NHKを経て弁護士登録、衆議院議員を経て社会福祉士資格取得。2011年5月現職。「こどもを核としたまちづくり」を掲げ市の人口をV字回復。



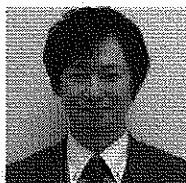
聞き手：小林美希氏(ジャーナリスト)

地方の少子化や人口減少が深刻さを増す中、明石市が取り組んできた子育て支援や保育士支援、待機児童問題の解消や子育て環境の改善など先進事例をお聞きし、次世代へ希望をつなぐための自治体運営を伺う。

15:20～17:40 講義 II-1

少子化、地方創生、地域社会の連携

講師：杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授)



専門は公共政策、地方自治。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、京都府立大学公共政策学部講師を経て2016年から現職。

新型コロナウイルスの混乱が続く一方で、都市一極集中、通勤ラッシュ、大部屋方式、ハンコ文化、対面授業(会議)、選挙のあり方等、これまでの「常識」を根本から見つめ直す機会にもなっている。働き方のみならず副業・プロボノ・関係人口などを活用したポストコロナ時代の「私」から始まる公共と地域協働のあり方について伺う。

15:20～17:40 講義 II-2

住民自治組織が担う地域の未来 —福知山市三和地域協議会の挑戦—

講師：岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)



京都府三和町役場入職。「自治体情報化共同事業」や「新市建設計画」策定等に従事。06年に福知山市に編入後、まちづくり推進課長などを歴任し、定年退職後現職に。

地域住民自治の仕組みを取り入れ、地域生活交通確保、移住・定住促進、地域振興イベント、福知山公立大学連携などに取り組む三和地域協議会の活動を報告。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2日目 10月22日[木]

9:00～11:00 講義 III

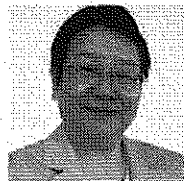
パネルディスカッション with コロナの時代を見据えて 「地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト

中川 智子氏
(宝塚市長) (予定)

パネリスト

ピアンキ・アンソニー氏
(犬山市議会前議長)



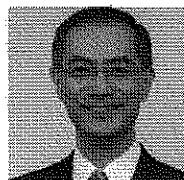
コーディネーター/コメンテーター
福岡 政行 先生(常任講師・東北福祉大学特任教授)

市民の声に向き合い「命を大切に、支え合いのまち」を実現してきた宝塚市の取り組みや、議会の権限を最大限に機能させ、住民の役に立つ機関をめざして議会改革に取り組んできた犬山市の取り組みを伺い、住民との対話、議員同士の討議が「地方行政や議会の改革」に果たす役割を明らかにする。また、本セミナーの常任講師の福岡政行先生には、進行と合わせてコロナ時代の地方議会について提言をいただく。

11:15～12:30 講義 IV

新型コロナ感染拡大と今後の地域経済 ～支えあいから再興へ～

講師：吉原毅氏(城南信用金庫顧問・麻布学園理事長)



東日本大震災後、被災地支援を精力的に行うと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。17年に全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設。

新型コロナウイルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人をつなぎ、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を伺う。

12:30～13:50 昼食・全国情報交換会

14:00～15:15 講義 V

民主主義とメディア ～新型コロナ渦の中で～

講師：望月衣塑子氏(東京新聞記者)



東京地検特捜部、東京地裁・高裁担当などを経て、社会部遊軍記者として防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。17年から森友・加計問題取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続ける。

豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染拡大から始まったコロナ禍で、オリパラ開催に固執し続けた安倍政権は自粛要請への対応が遅れ、その後も、アベノマスクなど失策が続く。官邸の「守護神」と言われた黒川弘務・東京高検前検事長の定年延長は、違法状態で閣議決定するというウルトラスをやったのけたが、世論の強い反発を買い、検察庁法改正案は見送りに。賭けマージャン報道で黒川氏は辞任に追い込まれた。97万人の失業者が溢れる中、「火事場泥棒」的な政府の行為など、浮き上がってきた様々な安倍政権の問題に切り込む。

15:15～15:30 閉会式

議員同士の全国ネットワーク「清溪セミナー」に参加しませんか



白井 えり子 実行委員長 (愛知県日進市議会議員7期、1991年から連続トップ当選)

清溪セミナーは平成9年度にスタートし、今年で25回目を迎えます。毎年、まちづくりや議会改革、地方財政など、住民主体の地方自治の推進に関わる旬のテーマについて、自ら学び、セミナー参加者や講師の先生方と交流を深めてきました。第25回目の今年は、特別テーマとして「新型コロナ/命と経済」を設定しました。新型コロナウイルスの問題は、世界中の人々の「命」の問題だけでなく、世界中の「経済」の問題でもあり、もとより身近な地域・地方自治体の問題でもあります。私たちは議員として、市民として、この問題にどう取り組み、どう乗り越え、どのようにこれからの新しい「ひと・まち・社会」を築いていくのか、その真価が問われています。今回も各分野でご活躍の講師の皆様をお迎えしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第25回 清溪セミナー

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

日時：2020年10月21日[水]～10月22日[木]

会場：日本青年館ホテル 8Fカンファレンスルーム (250㎡)

参加対象：地方議会議員等 80名 限定

参加申込：下記の申し込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。受領後に請求書をFAXもしくはメールにてお送りいたします。また、公式ホームページの申込フォームからお申込みいただけます。<https://nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/seikei-seminar/>



申込締切：2020年10月1日[木] 17:00 必着

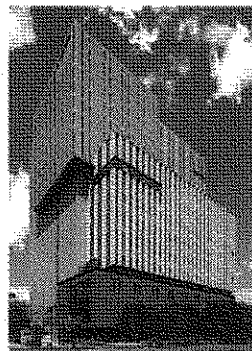
参加経費：参加費(会場費・資料代等) 29,000円(税込)

22日 昼食・情報交換会(飲み物付) 1,900円(税込) ※希望者のみ

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。ご手配は各自でお願いいたします。<https://nippon-seinenkan.or.jp/>



昨年の清溪セミナーから



日本青年館ホテル

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

- 東京メトロ銀座線 外苑前駅3番出口 徒歩5分
- 都営大江戸線 国立競技場駅A2番出口 徒歩10分
- 中央・総武線(各停) 千駄ヶ谷駅 信濃町駅 徒歩12分

事務局

一般財団法人日本青年館公益事業部

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

渋谷 / 田中 / 小森

TEL 03-6452-9012 (平日9時～18時)

FAX 03-6452-9016

MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

オンライン受講について

本年度は希望される方にオンライン受講も予定しています。通常の参加者100名に加え、会場にお越し頂けない場合にはセミナー当日に限りライブ配信を行い、講義をご覧いただけます。希望される方は下記申込書の指定欄に○印を記入してください。

◆オンライン受講の参加費 一人様 24,000円(税込)

申込みが完了し参加費納入が確認されたオンライン参加者あてに、メールにてアドレス等を発行いたします。詳細はオンライン参加を申し込まれた方にお知らせいたします。

申込記入欄 ※オンライン参加の方はこちらに○印()

所属 (協会名・会派名等)	(議員以外の方は勤務先をご記入ください) 飯塚市議会		
ふりがな 名前	どい ゆきおり	携帯電話	090-7381-4352
	土居 幸則	FAX	
住所	〒 福岡県飯塚市堀池310-25		
MAIL	(事務局からの連絡に使用します。オンライン参加の方は必ず記入してください) y.doi.iizukatab@gmail.com		
領収書の要・不要	不要・ <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ▶ 議会名・会派名・名前・その他 ()		

22日の昼食情報交換会(税込1,900円) 申し込みます 申し込みません

FAX: 03-6452-9016

※日本青年館公式サイトからダウンロード可能です

令和 2 年度		政務活動費									
役職名 議員		第25回 清溪セミナー									
氏名 江口 徹 小幡俊之 土居幸則		用務 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ホール									
月 日	発着駅名	經由	鉄 道 賃				賃	日 当 及 び 食 事 代	宿 泊 料		割引 備考
			旅程	運賃	超特・急	料金計			宿泊地	定 額	
10 20	新飯塚 ~ 福岡空港						バス	940	3,000		
	福岡空港 ~ 羽田空港							9,450	3,000		パック料金
	羽田空港 ~ (東京駅)	浜松町	3.1km	160			モルルール	500		新宿区	14,800
10 21									3,000		移動なし
									3,000	新宿区	14,800
10 22	(東京駅) ~ 羽田空港	浜松町	3.1km	160			モルルール	500	3,000		
	羽田空港 ~ 福岡空港							9,450			パック料金
	福岡空港 ~ 新飯塚						バス	940			
経回番号		計		320	0	320		21,780	15,000		29,600
※										合計金額	66,700

※ はパック料金

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 友和クラブ)

(広報費、No.)

(領収証等貼付箇所)

No.

領 収 証

土居 幸則 様



金額	¥	1	2	1	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---	---

但し 印刷代

上記の金額正に領収致しました

令和 3 年 3 月 16 日

内 訳	現金	✓	
	小切手		
	手形		
	相殺		

伊藤有限会社 伊藤印刷

福岡県嘉麻市大隈町1042番地

TEL 0948-57-0055



(ご注意) 金額を訂正したもの、社印及び取扱者の署名又は認印のないものは無効とします。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 友和クラブ)

(広報費、No.)

(領収証等貼付箇所)

納品書

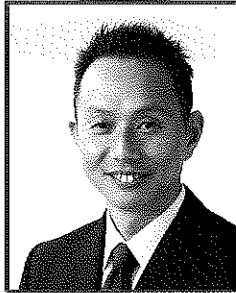
No.

土屋 幸則 様

福岡県嘉麻市大隈町 042番地
 伊藤有限会社 伊藤印刷
 代表取締役 伊藤 新
 TEL 0948-57-0055 FAX 0948-57-1536

令和 3 年 3 月 16 日

品名	数量	単価	金額	摘要
政治活動報告	5,000部		1,100,000	
合 計			1,100,000	
上記のとおり納品いたしました。			消費税額	110,000
取引銀行 福岡銀行大隈支店 (普) 989 伊藤有限会社			総計金額	1,210,000



飯塚市議会議員

どい幸則

情熱実践人

永久無休・24時間受付!

090-7381-4352まで...

○ ご挨拶



2020年(令和2年)は、コロナの影響で市民生活をはじめ経済活動にも、多大な影響が出て飲食業においては、経営そのものを脅かす事態となっております。世界ではワクチンの開発・承認が進んでますが、我が国の方向性は未だ不透明です。

2021年が始まり、ウィズコロナの動きがありながらも第3波の広がりから、元の暮らしに戻るにはまだまだ時間がかかるようです。そのような中で、まず取り組むべきは、生活の立て直しと、経済活動の復活が急務だと考えます。議会において出来ること、やるべきことを明確にし率先して動いてゆく覚悟ですので、市民の皆様の声を集め、具現化すべく努めてまいりますので、今後ともご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 一般質問 Q&A

6月24日(月)令和元年第3回定例会 一般質問

外国人居住者の就労実態とその家族について

【土居】本市の外国人居住者数と人口に占める割合はどのくらいか？

【部長】本年5月末現在で1393人、人口に占める割合は1.09%となっている。

【土居】外国人居住者は年々増加しているが、地域や自治会との関係はどうなっているか？

【部長】現時点では十分把握できていない。国際理解推進のため、自治会やまちづくり協議会のご理解ご協力をいただき、生活支援策を講じたい。

【土居】外国人来庁者への対応はどうなっているか？

【部長】通訳ができる職員の配置や、多言語対応タブレット等を備えるなど検討している。

【土居】文化や生活習慣などの違いがあるが、外国人への啓発や周知については、どのように取り組んでいるか？

【部長】暮らしの便利帳では中国語・韓国語・英語での多言語化を実施済みである。今後は様々な行政サービス情報の多言語化に向けて取り組んでいきたい。

【土居】外国人居住者の子供たちの学校の受け入れ状況はどうなっているか？

【部長】外国人児童生徒指導員を配置し対応している。

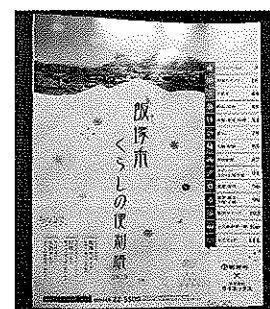
【土居】宗教上の理由から学校給食に配慮が必要な児童生徒への対応はどうなっているか？

【部長】児童生徒の保護者からの申し出に基づき、牛乳以外の提供を停止し、弁当を持参してもらっている。

【土居】国際都市いづかを推進する上での、今後の方向性はどうか？

【部長】多文化共生推進のため、地域交流や官民連携での国際交流の推進を図る。

【土居】国際都市いづかへの変革のため、より一層の支援を期待する。

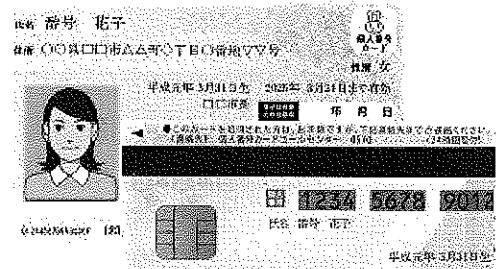


○ 一般質問 Q&A

9月9日(月)令和元年第4回定例会 一般質問

本市の民間業務委託等・マイナンバーカードの活用について

- 【土居】各種業務の民間委託は、具体的にどのようなものがあるのか？
- 【部長】市民課窓口、水道料金収納、オートレース場、学校給食調理及びごみ収集等の業務を委託している。
- 【土居】市民課窓口業務委託後の成果をどのように捉えているのか？
- 【部長】民間事業者が持つノウハウの活用により接遇対応の向上、繁忙期の従事者増員等、柔軟な対応によりサービスの向上につながっている。
- 【土居】行政サービスの多様化が進む中、職員の専門性やスキルアップに向け、どのような取り組みを実施しているのか？
- 【部長】各種専門研修を始め、自治大学校への派遣、国や県が行う技術職研修等により高度で専門的な知識習得を図り、時代に応じた職務を行えるよう研修を実施している。
- 【土居】組織づくり、人材育成、職員の適正配置を図り、効果的・効率的な行政経営を今後も実施してほしい。次に、マイナンバーカードを活用した自治体ポイントは、どのような事業なのか？
- 【部長】ポイント購入の際に、国費で10%程度のプレミアムポイントが付与され、利用したい自治体のポイントと交換し、地方の特産品等が購入できるものとなっている。
- 【土居】マイナンバーカードの今後の利活用はどのように考えているのか？
- 【部長】利活用専門部会等を設置し、窓口支援システムや自治体ポイント事業での利活用を調査研究している。
- 【土居】今後は、市民が利用できる多様なサービスに加え、実用的な方法により証明書等の発行を検討するなど、柔軟な対応を期待する。



3月4日(水)令和2年第1回定例会 一般質問

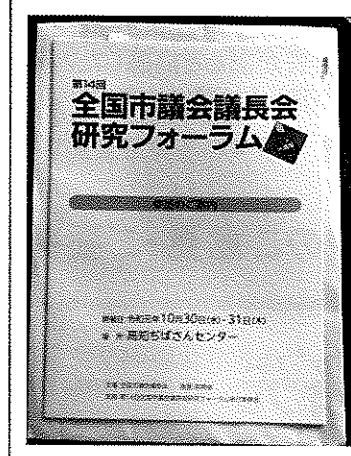
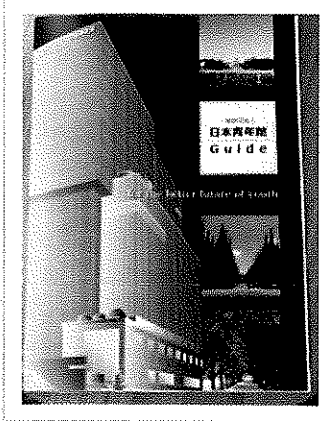
骨髄バンク事業について

- 【土居】骨髄バンク事業とはどのようなものか？
- 【部長】骨髄移植や末梢血管細胞移植を必要とする患者のために、骨髄を提供するドナー登録者を募り、移植を受ける機会を確保する事業である。
- 【土居】ドナー登録の必要性について、どのように考えているのか？
- 【部長】日本では、毎年1万人以上の方が白血病などの血液疾患を発症していると言われており、そのうち移植を必要とする患者は2千人程度いるため、より多くの方にドナー登録をしていただく必要があると考えている。
- 【土居】骨髄バンク事業により、どのくらいの移植が行われているのか？
- 【部長】直近3年間では、年間1200件程度の移植が行われている。
- 【土居】ドナー登録ができる条件は、どのようにになっているのか？
- 【部長】年齢は18歳以上54歳以下、体重は男性が45キロ以上、女性が40キロ以上などの要件をすべて満たしている方が対象となる。現在、登録者数は52万人ほどで、年々増加傾向にある。
- 【土居】本市では、骨髄や末梢血管細胞の提供者に対して、補助を行う骨髄等移植ドナー助成制度事業は導入しているのか？
- 【部長】現在は導入していないが、国においても、ドナー休暇制度の普及活動を支援することが公表され、骨髄移植や末梢血管細胞移植への関心が高まっている。今後県内の自治体の状況を調査し導入の検討をしていく。
- 【土居】骨髄等移植ドナー助成制度が導入されれば、ドナー登録の抵抗感や負担軽減につながるため、具体的な検討を進めてほしい。



○ これまでの行政視察、自主参加研修会(2019年分)

- 5月29日(水) 「あなたの知らない議会のチカラ」 伊万里市議会研修
(佐賀県:伊万里市)
- 6月 8日(土) 「出張財政出前講座with simulationふくおか2030」
(添田町町民会館)
- 6月29日(土) 「輝け議会！！対話による地方議会改革フォーラムin平戸」
6月30日(日) (平戸市:田平町民センター)
- 7月26日(金) 第24回清溪セミナー
7月28日(日) (東京都新宿区:日本青年館)
- 7月30日(火) 福岡市議会議長会議員研修会
(福岡市民会館)
- 7月30日(火) 児童虐待防止についての研修会
(麻生飯塚病院)
- 11月16日(土) 「輝け議会！！対話による地方議会改革フォーラムin福津」
(福津市)
- 10月 7日(月) 福祉文教委員会行政視察
(兵庫県加古川市・川西市・姫路市)
- 10月30日(水) 全国市議会議長会研究フォーラム
(高知県高知市)
- 11月18日(金) 議会運営委員会行政視察
(愛知県半田市・刈谷市)



○ 地域の出来事

卸売市場跡地・今後の方向性！

卸売市場移転後の跡地再開発については、地域自治会等での検討会や有識者の方々からのご助言など、活発な意見交換が行われました。いろいろな方向性が検討されたのち、市民の皆様方には新聞紙面等でも報道されましたように、株式会社イズミ様(本社:広島市)と立地に関する協定を締結しました。

具体的な内容については、今後協議されますが、地域の方々にとっては、期待と不安がいっぱいかと思います。進捗状況や概要については、決まり次第ご報告させていただきますが、ご意見やご質問がありましたら、いつでも何なりと私にお尋ねください。

**通学路にグリーンベルト設置！**

伊岐須小学校・二瀬中学校の通学路(伊岐須地区)において、道路の幅員が狭く歩道もないため、以前より地元自治会をはじめPTAの方からグリーンベルトの設置要望がありました。この度、水道管布設替え工事を追っての設置。

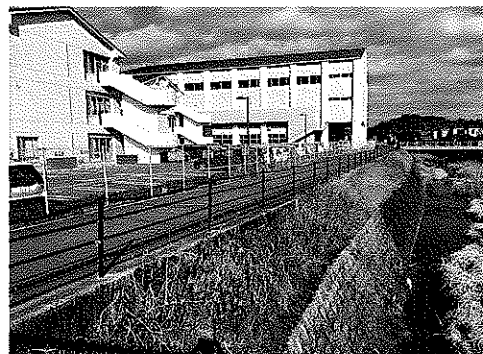
工事の段取り上、2期に分けての施工となりましたが、待望のグリーンベルト！

これで、児童生徒のみなさんはもちろん、保護者の方々にも不安解消の一助になれば幸いです。

防護柵の設置！

穂波東小中一貫校横の碓川堤防(河川管理道路)において、以前より、児童生徒の転落防止用の防護柵設置の要望が地元自治会等から出されていたところ、昨年末、地元県議会議員の方々のご尽力により、無事に設置完了となりました。

行政の仕事については、対応がいつも後手後手だ！とご批判が多い中、事故やけがの発生前に対処頂けた事に感謝します。

**編集後記**

議員は、市民の代表者であり、奉仕者であるという立場に立っての「一般的な考え」による判断と、地域や組織の立場での「分化的考え」による判断があります。双方が合致するときは問題ありませんが、相反し矛盾する時こそ自分自身において調整統合し、昇華させる責任があると痛感した2年間でした。今後も市民の皆様方のお役に立てよう頑張りますので、ご指導頂きますよう宜しくお願いします。

市政についての皆様のご意見・ご要望をおきかせください！

発行
連絡先

どい幸則 連絡先

〒820-0070 飯塚市堀池310-25-102 TEL/FAX:0948-28-6426

〒820-0702 飯塚市平塚2580-99 TEL/FAX:0948-72-1492

MAIL: ajisaba0823@ybb.ne.jp